

# 枚方市介護保険サービス事業者等指導及び監査指針

## 目次

- 第1章 指導（第1条—第9条）
- 第2章 監査（第10条—第24条）
- 第3章 補則（第25条—第27条）
- 附則

## 第1章 指導

### （目的）

第1条 指導は、枚方市が、介護保険法（平成9年法律第123号。以下「法」という。）第23条の規定による居宅サービス等（居宅サービス（これに相当するサービスを含む。）、地域密着型サービス（これに相当するサービスを含む。）、居宅介護支援（これに相当するサービスを含む。）、施設サービス、介護予防サービス（これに相当するサービスを含む。）、地域密着型介護予防サービス（これに相当するサービスを含む。）若しくは介護予防支援（これに相当するサービスを含む。）をいう。以下同じ。）を担当する者若しくは法第115条の45に規定する介護予防・日常生活支援総合事業を担当する者又はこれらの者であった者（以下この章において「介護保険施設等」という。）に対して行う介護給付及び予防給付（第1号事業支給費の支給を含む。以下「介護給付等」という。）に関する文書その他の物件の提出若しくは提示の求め若しくは依頼、又は質問若しくは照会に基づく指導について、基本的事項を定めることにより、居宅サービス等の利用者又は入所者若しくは入居者（以下この章において「利用者等」という。）の自立支援及び尊厳の保持を念頭において、介護保険施設等の支援を基本とし介護保険施設等が行う介護給付等に係る居宅サービス等（以下「介護給付等対象サービス」という。）に関するサービスの質の確保及び介護給付等の適正化を図ることを目的とする。

### （指導方針）

第2条 指導は、介護保険施設等に対し、枚方市指定地域密着型サービスに関する基準を定める条例（平成24年枚方市条例第46号）、枚方市指定地域密着型介護予防サービスに関する基準を定める条例（平成24年枚方市条例第47号）、枚方市指定居宅サービス事業者の指定並びに指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条

例（平成 25 年枚方市条例第 48 号）、枚方市指定介護予防サービス事業者の指定並びに指定介護予防サービス等の事業の人員、設備及び運営並びに指定介護予防サービス等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例（平成 25 年枚方市条例第 49 号）、枚方市指定介護老人福祉施設の指定並びに人員、設備及び運営に関する基準を定める条例（平成 25 年枚方市条例第 50 号）、枚方市介護老人保健施設の人員、施設及び設備並びに運営に関する基準を定める条例（平成 25 年枚方市条例第 51 号）、枚方市指定介護予防支援等に関する基準を定める条例（平成 26 年枚方市条例第 52 号）、枚方市指定居宅介護支援事業者の指定並びに指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例（平成 26 年枚方市条例第 54 号）、枚方市指定予防訪問事業者の指定並びに指定予防訪問事業の人員、設備及び運営並びに指定予防訪問事業におけるサービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める規則（平成 29 年枚方市規則第 17 号）、枚方市指定予防通所事業者の指定並びに指定予防通所事業の人員、設備及び運営並びに指定予防通所事業におけるサービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める規則（平成 29 年枚方市規則第 19 号）、枚方市介護医療院の人員、施設及び設備並びに運営に関する基準を定める条例（平成 30 年枚方市条例第 2 号）（以下「市基準条例等」という。）、「指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準」（平成 12 年厚生省告示第 19 号）、「指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準」（平成 12 年厚生省告示第 20 号）、「指定施設サービス等に要する費用の額の算定に関する基準」（平成 12 年厚生省告示第 21 号）、「指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準」（平成 18 年厚生労働省告示第 126 号）、「指定介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準」（平成 18 年厚生労働省告示第 127 号）、「指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準」（平成 18 年厚生労働省告示第 128 号）、「指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準」（平成 18 年厚生労働省告示第 129 号）、「枚方市介護予防・日常生活支援総合事業第 1 号事業支給費の額等を定める要領」、「厚生労働大臣が定める一単位の単価」（平成 27 年厚生労働省告示第 93 号）等（以下「基準等」という。）に定める介護給付等対象サービスの取扱い、介護給付等に係る費用（以下「介護報酬」という。）の請求等に関する事項について周知徹底させることを方針とする。

（指導形態等）

第 3 条 指導の形態は、次のとおりとする。

(1) 集団指導

集団指導は、枚方市長が主体となり、指定又は許可の権限を持つ介護保険施設等に対し、介護給付等対象サービスの取扱い、介護報酬請求の内容、制度改正内容及び高齢者虐待事案をはじめとした過去の指導事例等に基づく指導内容について、年1回以上、一定の場所に集めて講習等の方法により行う。なお、オンライン等（オンライン会議システム、ホームページ等。以下同じ。）の活用による動画の配信等による実施も可能とする。

## (2) 運営指導

### ① 運営指導の形態

運営指導は次のアからウまでの内容について、原則、実地に行う。また、枚方市長が単独で行うものを「一般指導」とし、厚生労働大臣及び枚方市長が合同で行うものを「合同指導」とする。なお、アからウまでの実施については、効率的な実施の観点から、それぞれ分割して実施することも差し支えない。

#### ア 介護サービスの実施状況指導

個別サービスの質（施設・設備や利用者等に対するサービスの提供状況を含む）に関する指導

#### イ 最低基準等運営体制指導

基準等に規定する運営体制に関する指導（ウに関するものを除く。）

#### ウ 報酬請求指導

加算等の介護報酬請求の適正実施に関する指導

### ② 実施頻度

運営指導は、原則として指定又は許可の有効期間内に少なくとも1回以上、指導の対象となる介護保険施設等について行う。なお、居宅サービス（居住系サービスに限る。）、地域密着型サービス（居住系サービス又は施設系サービスに限る。）又は施設サービスについては、3年に1回以上の頻度で行うことが望ましいものとする。

### ③ 運営指導の内容

運営指導の実施に当たっては、基準等への適合性に関し、介護保険施設等による自己点検を励行するものとし、上記①ア及びイについては、介護サービスの質の確保、利用者保護等の観点から重要と考えられる標準的な確認すべき項目（以下「確認項目」という。）及び標準的な確認すべき文書（以下「確認文書」という。）に基づき実施する。なお、サービス種別毎の確認項目及び確認文書については別に定める。

また、運営指導（上記①ア及びイに限る。）においては、確認項目以外の項目は、

特段の事情がない限り確認を行わないものとし、確認文書以外の文書は原則求めないものとする。

(指導対象)

第4条 指導は全ての介護保険施設等を対象とし、効率的な指導を行う観点から、その選定については一定の計画に基づき行う。

(1) 集団指導の対象

集団指導は、枚方市長が指定又は許可の権限を持つ全ての介護保険施設等を対象に行う。なお、枚方市長は、その指導内容等により、サービス種別毎の実施や新規指定又は管理者の変更があった介護保険施設等を対象として別途実施する等、より一層内容の理解が図られるよう努める。

(2) 運営指導の対象

- ① 一般指導は、実施頻度や個別事由を勘案し、原則毎年度、計画的に実施できるよう枚方市長が、介護保険施設等を選定する。
- ② 合同指導は、一般指導の対象とした介護保険施設等の中から選定する。

(指導方法等)

第5条 指導に係る手順及び方法については、次のとおりとする。

(1) 集団指導

① 実施通知

枚方市長は、集団指導の日時、場所、出席者、指導内容等を文書により当該介護保険施設等に対して原則として集団指導実施日の2月前までに通知する。

② 指導方法

実施に当たっては、介護保険施設等に対して、指導内容の理解を深めるため質問や個別相談等の機会を設ける等、工夫するとともに、実施体制等により単独での実施が困難な場合は、都道府県又は他の市町村と合同で実施することを検討する。

なお、集団指導に参加しなかった介護保険施設等に対しては、使用した資料の送付等により確実に資料の閲覧が行われるよう情報提供するとともに、オンライン等の活用による動画の配信等による場合は、配信動画の視聴や資料の閲覧状況について確認する。

(2) 運営指導

① 実施通知

枚方市長は、指導対象となる介護保険施設等を決定したときは、次に掲げる事項を

文書により当該介護保険施設等に原則として運営指導実施日の1月前までに通知する。

ただし、緊急を要する場合等については、指導開始時に次に掲げる事項を文書により通知する。

(ア) 運営指導の根拠規定及び目的

(イ) 運営指導の日時及び場所

(ウ) 指導担当者

(エ) 介護保険施設等の出席者（役職名等で可）

(オ) 準備すべき書類等

(カ) 当日の進め方、流れ等（実施する運営指導の形態、スケジュール等）

## ② 指導方法

運営指導は、関係者から関係書類を基に説明を求める面談方式で行う。なお、施設・設備や利用者等のサービス利用状況以外の実地でなくても確認出来る内容（最低基準等運営体制指導及び報酬請求指導に限る。）の確認については、情報セキュリティの確保を前提としてオンライン等を活用することができる。活用にあたっては、介護保険施設等の過度な負担とならないよう十分に配慮する。

## ③ 運営指導の留意点

### ア 所要時間の短縮等

運営指導の所要時間については、確認項目を踏まえることで、一の介護保険施設等当たりの所要時間をできる限り短縮し、介護保険施設等と自治体双方の負担を軽減し、運営指導の頻度向上を図る。

### イ 同一所在地等の運営指導の同時実施

同一所在地や近隣に所在する介護保険施設等に対する運営指導については、できるだけ同日又は連続した日程で行うなどにより効率化を図る。

### ウ 運営指導で準備する書類等

運営指導において準備する文書は、原則として、前年度から直近の実績に係るものとし、介護保険施設等に対して運営指導の事前又は当日に提出を求める資料及び書類の写等については1部とし、枚方市が既に保有している文書（新規指定時、指定更新時及び変更時に提出されているもの等）については再提出を求めない。

また、介護保険施設等において作成、保存等が行われている各種書面について、当該書面に代えて電磁的記録により管理されている場合は、ディスプレイ上で内

容を確認することとし、別途、印刷した書類等の準備や提出は求めない。

エ 利用者等の記録等の確認

利用者等へのサービスの質を確認するためにその記録等を確認する場合は、特に必要と判断する場合を除き、対象は原則として3名以内とする。

ただし、居宅介護支援事業所については、原則として介護支援専門員1人あたり1名から2名までの利用者についてその記録等を確認する。

オ 事務受託法人等の活用

実施体制等により単独での実施が困難な場合や第3条(2)②で規定する実施頻度で実施することが困難な場合は、法第24条の2第1項第1号に規定する指定市町村事務受託法人の活用や地方自治法（昭和22年法律第67号）第252条の7に規定する機関等の共同設置を行うなど、複数の市町村と合同で実施すること等について検討すること。

（講評）

第6条 運営指導の終了後に関係者に対して講評を行うものとする。

（指導結果の通知等）

第7条 運営指導の結果、人員、施設及び設備又は運営について改善を要すると認められる事項がある場合、介護報酬請求について不当には当たらない軽微な誤りが認められ過誤による調整を要すると認められる場合には、後日文書によってその旨を通知する。

2 枚方市長は、当該介護保険施設等に対して、前項の規定により通知した事項については、文書により報告を求めるものとする。

（監査への変更）

第8条 運営指導を実施中に以下に該当する状況を確認した場合は、運営指導を中止し、直ちに第2章に定めるところにより監査を行い、事実関係の調査及び確認を行うものとする。

- (1) 市基準条例等に従っていない状況が著しいと認められる場合又はその疑いがあると認められる場合
- (2) 介護報酬請求について、不正を行っているとして認められる場合又はその疑いがあると認められる場合
- (3) 不正の手段による指定等を受けていると認められる場合又はその疑いがあると認められる場合
- (4) 高齢者虐待等により、利用者等の生命又は身体の安全に危害を及ぼしていると認め

られる場合又はその疑いがあると認められる場合

(指導にあたっての留意点)

第9条 指導は、次の事項に留意し行うものとする。

- (1) 高圧的な言動は控え、改善が必要な事項に対する指導や、より良いケア等を促す助言等については、介護保険施設等との共通認識が得られるよう留意する。
- (2) 適正な事業運営等に関し効果的な取り組みを行っている介護保険施設等については、積極的に評価し、他の介護保険施設等へも紹介する等、介護サービスの質の向上に向けた指導を行う。
- (3) 運営指導は、基準等に基づき行うものとし、担当職員の主観に基づく指導や、当該介護保険施設等に対する前回の指導内容と根拠なく大きく異なる指導は行わない。
- (4) 運営指導における個々の指導にあたっては、具体的な状況や理由を聴取し、根拠規定やその趣旨・目的等について懇切丁寧な説明を行う。
- (5) 運営指導の際、介護保険施設等の出席者については、必ずしも事前に通知した者に限定することなく、実情に詳しい従業者や介護保険施設等を経営する法人の労務・会計等の担当者が同席することは差し支えない。

## 第2章 監査

(目的)

第10条 監査は、枚方市が、法第76条、第76条の2、第77条、第78条の7、第78条の9、第78条の10、第83条、第83条の2、第84条、第90条、第91条の2、第92条、第100条、第103条、第104条、第114条の2、第114条の5、第114条の6、第115条の7、第115条の8、第115条の9、第115条の17、第115条の18、第115条の19、第115条の27、第115条の28、第115条の29、第115条の45の7、第115条の45の8及び第115条の45の9の規定に基づき、介護保険施設等（指定居宅サービス事業者若しくは当該指定に係る事業所の従業者又は指定居宅サービス事業者であった者若しくは当該指定に係る事業所の従業者であった者、指定地域密着型サービス事業者若しくは当該指定に係る事業所の従業者又は指定地域密着型サービス事業者であった者若しくは当該指定に係る事業所の従業者であった者（以下「指定地域密着型サービス事業者等」という。）、指定居宅介護支援事業者若しくは当該指定に係る事業所の従業者又は指定居宅介護支援事業者であった者若しくは当該指定に係る事業所の従業者であった者、指定介護老人福祉施設若しくは指定介護老人福祉施設の開設者若しくはその長その他の従業者又は指定

介護老人福祉施設の開設者若しくはその長その他の従業者であった者、介護老人保健施設の開設者、介護老人保健施設の管理者又は医師その他の従業者（以下「介護老人保健施設開設者等」という。）、介護医療院の開設者、介護医療院の管理者又は医師その他の従業者（以下「介護医療院開設者等」という。）、指定介護予防サービス事業者若しくは当該指定に係る事業所の従業者又は指定介護予防サービス事業者であった者若しくは当該指定に係る事業所の従業者であった者、指定地域密着型介護予防サービス事業者若しくは当該指定に係る事業所の従業者又は指定地域密着型介護予防サービス事業者であった者若しくは当該指定に係る事業所の従業者であった者（以下「指定地域密着型介護予防サービス事業者等」という。）、指定介護予防支援事業者若しくは当該指定に係る事業所の従業者又は指定介護予防支援事業者であった者若しくは当該指定に係る事業所の従業者であった者及び法第 115 条の 45 の 3 第 1 項に規定する指定事業者若しくは指定事業者であった者若しくは当該指定に係る事業所の従業者であった者（以下「第 1 号事業指定事業者等」という。)) に対して行う介護給付等対象サービスの内容並びに介護報酬の請求に関して行う監査に関する基本的事項を定めることにより、介護給付等対象サービスの質の確保及び介護給付等の適正化を図ることを目的とする。

（監査方針）

第 11 条 監査は、介護保険施設等の介護給付等対象サービスの内容並びに介護報酬の請求について、市基準条例等に従っていないと認められる場合若しくはその疑いがあると認められる場合、又は介護報酬の請求について不正を行っているとして認められる場合若しくはその疑いがあると認められる場合、又は不正の手段により指定等を受けていると認められる場合若しくはその疑いがあると認められる場合（以下「指定基準違反等」という。）、又は介護給付等対象サービスの利用者又は入所者若しくは入居者（以下「利用者等」という。）について高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律（平成 17 年法律第 124 号）（以下「高齢者虐待防止法」という。）に基づき市町村が虐待の認定を行った場合若しくは高齢者虐待等により利用者等の生命又は身体の安全に危害を及ぼしている疑いがあると認められる場合（以下「人格尊重義務違反」という。）において、枚方市が、当該介護保険施設等に対し報告若しくは帳簿書類の提出若しくは提示を命じ、出頭を求め、又は当該職員に関係者に対して質問させ、若しくは当該介護保険施設等に立ち入り、その設備若しくは帳簿書類その他の物件の検査（以下「立入検査等」という。）を行い、事実関係を的確に把握し、公正かつ適切な措置を採ることを主眼とする。

（監査対象となる介護保険施設等の選定基準）

第 12 条 監査は、次の各号に掲げる情報を踏まえて、指定基準違反等又は人格尊重義務違反の確認について必要があると認める場合に立入検査等により行う。

(1) 要確認情報

- ① 通報・苦情・相談等に基づく情報
- ② 市町村が、高齢者虐待防止法に基づき虐待を認定した場合又は高齢者虐待等により利用者等の生命又は身体の安全に危害を及ぼしている疑いがあると認められる情報
- ③ 国民健康保険団体連合会（以下「連合会」という。）、地域包括支援センター等へ寄せられる苦情
- ④ 連合会・保険者からの通報情報
- ⑤ 介護給付費適正化システムの分析から特異傾向を示す介護保険施設等
- ⑥ 法第 115 条の 35 第 4 項の規定に該当する報告の拒否等に関する情報

(2) 運営指導における情報

第 3 条(2)の運営指導により指導を行った枚方市長が介護保険施設等において認めた（その疑いがある場合を含む。）指定基準違反等及び人格尊重義務違反（監査方法等）

第 13 条 監査対象となる介護保険施設等を決定したときは、次に定める方法等により監査を行う。

(1) 実施通知

枚方市長は、監査の対象となる介護保険施設等を決定したときは、次に掲げる事項を文書により、監査開始時に通知する。なお、法第 23 条により運営指導を実施中に監査に移行した場合は、口頭により当該事項を含め監査を実施する旨通告する。

- ア 監査の根拠規定
- イ 監査の日時及び場所
- ウ 監査担当者
- エ 監査対象介護保険施設等の出席者（役職名等で可）
- オ 必要な書類等
- カ 虚偽の報告又は答弁、検査忌避等に関する罰則規定

(2) 情報提供等

枚方市長は、監査の実施に当たっては、事前に、関係する保険者及び監査の対象が指定地域密着型サービス事業者等、指定地域密着型介護予防サービス事業者等又は

第1号事業指定事業者等の場合は当該事業者を指定している全ての市町村長に情報提供を行い、必要に応じ同時に監査を実施する等の連携を図るものとする。

(行政上の措置)

第14条 指定基準違反等又は人格尊重義務違反が認められた場合には、枚方市長は法第5章に掲げる「勧告、命令等」、「指定の取消し等」、「設備の使用制限等」、「変更命令」、「業務運営の勧告、命令等」、「許可の取消し等」の規定に基づき行政上の措置をとるものとする。

(勧告)

第15条 介護保険施設等（介護老人保健施設開設者等、介護医療院開設者等を除く。以下第16条及び第17条において同じ。）に指定基準違反等（介護報酬の請求に関することを除く。）の事実が確認された場合、当該介護保険施設等に対し、期限を定めて、文書により基準の遵守等の措置をとるべきことを勧告することができる。

2 勧告した場合は、当該介護保険施設等に対し、期限を定めて、文書によりとった措置について報告を求める。

3 当該介護保険施設等が当該期限内に勧告に従わなかったときは、その旨を公表することができる。

(命令)

第16条 介護保険施設等が正当な理由がなくてその勧告に係る措置をとらなかったときは、当該介護保険施設等に対し、期限を定めて、その勧告に係る措置をとるべきことを命令することができる。

2 命令をした場合は、その旨を公示するとともに、当該介護保険施設等に対し、期限を定めて、文書によりとった措置について報告を求める。

(指定の取消し等)

第17条 枚方市長は、指定基準違反等又は人格尊重義務違反の内容等が、法第77条第1項各号、第78条の10各号、第84条第1項各号、第92条第1項各号、第115条の9第1項各号、第115条の19各号、第115条の29各号及び第115条の45の9各号のいずれかに該当する場合においては、当該介護保険施設等に係る指定を取り消し、又は期間を定めてその指定の全部若しくは一部の効力の停止（以下「指定の取消等」という。）をすることができる。

(設備の使用制限等)

第18条 枚方市長は、法第101条又は法第114条の3の規定により、介護老人保健施設又

は介護医療院が療養室等の設備や条例で定める施設を有しなくなったとき、又は市基準条例等に適合しなくなったときは、当該施設の開設者に対し、期間を定めて、その全部若しくは一部の使用を制限し、若しくは禁止し、又は期限を定めて、修繕若しくは改築を命ずることができる。

(変更命令)

第 19 条 枚方市長は、法第 102 条又は法第 114 条の 4 の規定により、介護老人保健施設又は介護医療院に係る施設の管理者が当該施設の管理者として不相当であると認めるときは、当該施設の開設者に対し、期限を定めて、当該施設の管理者の変更を命ずることができる。

(業務運営の勧告、命令等)

第 20 条 枚方市長は、法第 103 条又は法第 114 条の 5 の規定により、介護老人保健施設又は介護医療院において基準違反の事実が確認された場合、当該施設の開設者に対し、期限を定めて、文書により基準を遵守すべきことを勧告することができる。

2 勧告した場合は、当該施設の開設者に対し、期限を定めて、文書によりとった措置について報告を求める。

3 勧告した場合は、当該施設の開設者が、当該期限内に当該勧告に従わなかったときは、その旨を公表することができる。

4 当該施設が正当な理由がなくその勧告に係る措置をとらなかったときは、当該施設の開設者に対し、期限を定めて、その勧告に係る措置をとるべきことを命令することができる。

5 命令をした場合は、その旨を公示するとともに、当該施設の開設者に対し、期限を定めて、文書によりとった措置について報告を求める。

(許可の取消し等)

第 21 条 枚方市長は、法第 104 条又は法第 114 条の 6 の規定により、介護老人保健施設又は介護医療院における指定基準違反等又は人格尊重義務違反の内容等が、法第 104 条第 1 項各号、法第 114 条の 6 第 1 項各号のいずれかに該当する場合には、当該施設に係る許可を取り消し、又は期間を定めてその許可の全部若しくは一部の効力の停止（以下「許可の取消等」という。）をすることができる。

(その他)

第 22 条 監査の結果については、文書により通知する。なお、第 15 条から第 21 条までに該当する場合はそれらの通知に代えることができる。また、第 15 条から第 21 条までに

該当しない、改善を要すると認められた事項については、その旨を通知し期限を定めて報告を求めるものとする。

(聴聞等)

第 23 条 監査の結果、当該介護保険施設等が命令又は指定の取消等若しくは許可の取消等の処分（以下「取消処分等」という。）に該当すると認められる場合は、監査後、取消処分等の予定者に対して、行政手続法（平成 5 年法律第 88 号）第 13 条第 1 項各号の規定に基づき聴聞又は弁明の機会を付与しなければならない。

ただし、同条第 2 項各号のいずれかに該当するときは、これらの規定は適用しない。

(経済上の措置)

第 24 条 枚方市長が取消処分等（命令を除く。）を行った場合に、当該介護保険施設等が法第 22 条第 3 項に規定する偽りその他不正の行為により介護報酬の支払いを受けている場合には、その支払った額につきその返還させるべき額を不正利得とし、当該支払いに係る保険者に対し、当該不正利得の徴収を行うよう要請するものとする。

2 前項の不正利得については、原則として、法第 22 条第 3 項の規定により当該返還させるべき額に 100 分の 40 を乗じて得た額を併せて徴収するものとする。

### 第 3 章 補則

(関係部局との連携等)

第 25 条 指導監査に当たっては、関係部局とも連携の上、他の法令等に基づく指導監査等と合同で実施するなど、適切かつ効率的に行う。

(情報の提供等)

第 26 条 指導に当たっては、大阪府並びに他市町村と連携を図り、必要な情報交換を行うことで適切な集団指導及び運営指導の実施に努めるものとする。

2 指導結果及び改善報告書の内容について、必要に応じて都道府県並びに当該介護保険施設等の通常の事業実施区域に所在する市町村等への情報提供を行う。

3 監査を実施した場合は、監査結果の通知及び報告書の内容又は取消処分等を行ったときはその旨を、必要に応じて都道府県並びに当該介護保険施設等の通常の事業実施区域に所在する市町村等への情報提供を行う。

4 枚方市は、監査及び行政措置の実施状況について、介護保険法第 197 条第 2 項に基づく介護保険施設等に対する介護保険法第 5 章の規定により行う行政処分に関する報告等について（平成 28 年 3 月 30 日付老指発 0330 第 1 号厚生労働省老健局総務課介護保険指導

室長通知)により、厚生労働省老健局総務課介護保険指導室に報告する。

- 5 指定又は許可の取り消しに相当する事案が発生した場合は、法第115条の32第1項に規定する権限を所管する行政機関に対して、必要に応じて当該権限を行うよう求めることができるものとする。

(その他)

第27条 その他必要な事項については、別に定めるものとする。

附 則

(施行期日)

- 1 この指針は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 枚方市介護保険サービス事業者等指導及び監査指針(平成29年4月1日施行。以下「旧指針」という。)は、廃止する。
- 3 この指針の施行の日前に旧指針の規定によりなされた指導その他の行為は、この指針の相当規定によりなされた指導その他の行為をみなす。

附 則

(施行期日)

- 1 この指針は、令和2年6月16日から施行する。

附 則

(施行期日)

- 1 この指針は、令和3年3月24日から施行する。

附 則

(施行期日)

- 1 この指針は、令和4年4月28日から施行する。

附 則

(施行期日)

- 1 この指針は、令和8年4月1日から施行する。